

ぎかいのとびら

 ひおき市議会だより

6月定例会 主な内容

平成28年8月 第45号

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ●平成28年度補正予算…………… P 2 | ●陳情等の審査状況…………… P 12 |
| ●人事案件…………… P 3 | ●所管事務調査結果報告…………… P 13 |
| ●条例の審査状況…………… P 3 | ●編集後記…………… P 16 |
| ●一般質問…………… P 4 | |

 ミノアカ フラフェスティバル



アロハの心を大切に ナプアマイレのみなさん♪

やはす
矢筈・諸正岳ロマンふれあい
ロード整備看板2基設置に
800万円



ふれあい飯牟礼館からの諸正岳

セイカ食品工場建設のための
配水管敷設工事
2400万円



セイカ食品工場建設予定地

人事案件



引き続き教育委員会委員へ
内村 友治 氏

日置市診療所条例を廃止
平成29年4月から診療所は民間譲歩へ
(賛成20・反対1)

まちのきまり
JR伊集院駅北口に一時利用駐車場設置へ

利用時間	利用料金
30分以内	無料
1時間につき	100円
24時間まで上限	500円
24時間超	100円
24時間超につき	500円
24時間超上限	500円

伊集院駅北口ロータリーに
ロック式駐車場を設置予定。
使用時間は午前0時から
午後12時までとする。
無料駐輪場は150台分
設置。



条例名	可決内容	賛否表(成田議員は議長のため、表決には参加しない)														結果									
		中村	畠中	留盛	橋口	黒田	下御領	山口	出水	上園	門松	坂口	花木	並松	大園		漆島	中島	田畑	池満	長野	松尾	宇田	成田	
日置市職員の退職管理に関する条例	制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び日置市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市税条例等	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市診療所条例	廃止	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決	
日置市営駐車場条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決


新たな地域活性化に向けて
企業対策費
25億7584万円追加し266億1067万9千円

6月補正

B&G 東市来海洋センター
修繕工事に
2300万円



幼稚園就園奨励費
システム改修に
151万円



6月定例会は、6月10日から6月30日まで開催されました。今回の定例会では、25億7584万円を増額する一般会計補正予算などが上程され、審議を行いすべて可決しました。6月補正予算のお金の使い道を一部ご紹介します。

水槽付消防ポンプ自動車
4500万円



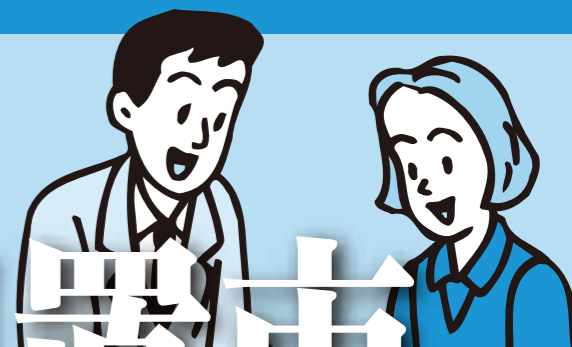
消防本部へ配備

伊集院幼稚園の改築
2億9916万円
国1/2、市1/4、園1/4負担



一般会計・特別会計 (予算額は1万円未満切り捨て)

会計名	補正予算額	賛否表(成田議員は議長のため、表決には参加しない)														結果									
		中村	畠中	留盛	橋口	黒田	下御領	山口	出水	上園	門松	坂口	花木	並松	大園		漆島	中島	田畑	池満	長野	松尾	宇田	成田	
一般会計	25億7584万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
特別会計	国民健康保険	162万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	公共下水道事業	△545万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	温泉給湯事業	155万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決



一般質問

これからどうする！ 日置市

6月の定例会では11人の議員が登壇し、日置市の未来を見据え質問を行いました。

より良い市政を目指して



上園 哲生 議員

上園 合併後10年が経過し、地方交付税の段階的縮減合併特例債の発行できる期限も残り5年となる。厳しい財政運営が予測される中、高度経済成長期に、建設された公共施設の老朽化への対応が、大変重要な課題となっている。先般「公共施設等管理計画」が策定され、

建設後50年以上経過した施設の廃止・建て替え・大規模修繕等の選択を、耐震性、物理的耐用年数構造躯体の健全性、コスト比較等、さまざまな観点から慎重に判断していく。財政環境も一層厳しくなっていくので、計画的な点検、保全型の修繕による維持管理や、長寿命化を図り、計画的な修繕替えを行い、財政負担を平準化していく考えである。

市長

指定している避難所は46カ所あるが、その内5カ所の避難所の耐震性が確認されていない。耐震性が確認されていない施設については、



旧耐震基準で建設された指定避難所の吹上中央公民館

質問 1 今後の公共施設等への対応は

【答弁】 予防保全型の対応で財源平準化を

市長

ハコモノ施設が379施設、1127棟、年間維持管理費約30億円と平成26年度決算時の数値が示された。今後の具体的な対応の指針について伺う。

質問 2 旧耐震基準の避難所への対応は

【答弁】 避難所指定の変更も検討

耐震診断を実施し、避難所の指定変更も検討していきたい。本市の耐震改修促進計画の策定時の、市有建物の耐震化率は75.8%であったが、現在では78.5%と約3%上がっている。今後も引き続き、耐震化の促進に努めていく。

(その他の質問) 避難所の備蓄のあり方について

質問 1 本市の奨学金制度の利用状況はどうか

【答弁】 大学進学者3人 高校進学者3人が利用

坂口

生活困窮、子どもの貧困が指摘され、4年生大学へ進学する2人に1人が奨学金を借りなければ進学できない状況だ。日置市の奨学金の利用状況はどうか。本県は、文部科学省の調査によると、大学進学率が全国で最下位である。進学は個人の自由であるが、都道府県において

教育長

現在、返済中は42人である。本県の実状は把握し認識していたが、意識調査では、就職希望、専門学校、短大希望も多い。経済的な理由もあるのではないかと。各自治体の奨学金額が3万〜4万円であり今後、制度を検討する。基金については、今後給付型も検討されており、あらゆる角度から財源について考えたい。

質問 2 障がい者差別解消法の本市の考え方は

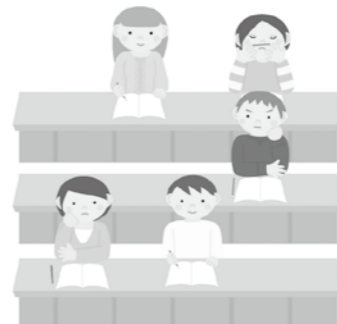
【答弁】 障がい者を理由とする差別を解消する

坂口

4月から障がい者差別解消法が施行された。この法律は「不当な差別的取り扱い」を禁止し「合理的な配慮の提供」を求めるものである。

市長

お知らせ版の啓発や企業等に協力を求める。就労やコミュニケーションで差別を感じるかもしれない。各関係機関へ障がい者差別解消に向けて情報発信する。対応要領については、自立支援協議会等と協議しながら作成したい。





大園 貴文 議員

質問 1 谷山伊作線改良を県に要請すべき

【答弁】 鹿児島市とも連携し県に改良を要望

事故も発生している。本路線は、通勤通学等生活に重要な役割を担う主要地方道路であることから、安心して利用できる道路に改善していくべきである。

また、接続する鹿児島市とも協議を進め連携を図り、県に社会基盤であるインフラ整備の一体的な改善に向けて、早期に二次改良を知事に要請すべきであるがどうか。

市長

本路線の赤仁田く鹿児島県は、連続するカーブ、急こう配であり、二次改良をしていかなければならない場所だと十分認識していることから、これまでに鹿児島地域行政懇話会や土木事業連絡会などで、改良の要望をしてきた。

今後は鹿児島市とも連携し、舗装修繕、区画線補修、防護柵整備など維持工事や交通安全施設整備について要望をしたい。

質問 2 吹上浜アスリートの森整備計画は

【答弁】 鹿児島国体に向け一体的な整備計画を検討

大園

吹上浜キャンプ村跡地活用のパークゴルフ場の提案に市長は、交通人口の増加に十分期待できるとして、検討委員会に提案するとして、その後の計画は、また、吹上浜公園駐車場不足による苦情対策は。

市長

パークゴルフ場の提言もあり、現在キャンプ村跡地の周辺一帯については、人口芝サツカー場の整備計画もある。

今後は、地元や関係団体と十分に話し合い、2020年の鹿児島国体を見据えた計画とする。

また、吹上浜公園駐車場不足に関する苦情については、大会前にキャンプ村の駐車場を、除草等を行い簡易的に整備する。



キャンプ村駐車場跡

質問 1 ため池の管理等の現状は

【答弁】 土地改良区、地域の水利組合が管理

留盛 浩一郎 議員

所、吹上2カ所あるが、安全対策の面からも、早急に柵の設置と脱出補助施設や、救命道具の設置が必要と思うがどうか。

東市来地域にある畑かん利用組合が管理しているため池など、スマートフォンを活用した監視システムを構築できないか。

市長

管理計画の地域別では、東市来7カ所、伊集院3カ所、日吉14カ所、吹上7カ所、合計31カ所ある。

管理者は、土地改良区や地域の水利組合で管理している。

柵等の設置については、水土里サークルでの管理もあり、市からも指摘していきたい。

スマートフォンでの監視システムは、維持コストもかかるので、組合と十分協議していきたい。

質問 1 小中学校の事件発生に伴う緊急連絡網は

【答弁】 正しい内容を迅速かつ確実に保護者に伝える

島中

本来、最も安心・安全な場所であるべき学校現場で、不審者侵入事件や自然災害、そして学校施設に関わる事故が発生している。

また、通学路においても不審者情報や声かけ事案が発生している。

①各学校における緊急連絡網の状況と課題は。

②警察・消防等、関

係各機関との連携体制は。

教育長

①緊急時の主な連絡手段は、メールが18校、電話が7校で、事件に係る情報を保護者に対して、いかに迅速にかつ正確に伝えられるかが課題。

②不審者・災害等の事件が発生した場合、学校は関係機関と情報内容を確認・共有した上で、保護者に情報を提供する。

③各学校で連絡体制が違うために、メールによる連絡網については、整備に係るコスト面や保護者の了解等の課題がある。

質問 2 市職員の各種休暇制度の利用は

【答弁】 十分な理解が得られるよう休暇制度の周知を行う

島中

①子育てにかかわる休暇制度とその利用状況は。

②男性職員の育時休業制度等の利用状況は。

③各種休暇制度を利用する上での課題は。

④今後、職員の各種休暇制度を利用しやすいように、日置市としてどのように取り組んでいくのか。

市長

①平成27年度の利用状況は、女性の産前及び産後休暇100%、男性の妻の出産に際する休暇58%、育児参加



質問 2 児童虐待防止と貧困対策は

【答弁】 子ども支援センターが対応

留盛

児童相談所における虐待に関する相談処理件数は、24年連続で増加しているが、本市における対応件数はどうか。

児童生徒にも、全国共通相談ダイヤル「189」への啓発活動を行うのに、オレンジリボンを記したカードやポケットティッシュの配布を市独自で考えないか。

児童虐待に関する相談体制や役割分担、連携はどうなっているか。

市長

本市での相談処理件数は、26年度11件、27年度8件である。

相談ダイヤルは、お知らせ版等で周知を図りたい。

カードやポケットティッシュの配布は考えない。

相談体制等は、福祉課、健康保険課、学校教育課の連携による子ども支援センターで対応している。



安全管理の徹底が必要



出水 賢太郎 議員

地域公共交通の 今後は

質問 1
【答弁】
総合的ネットワークを構築する

市長 地域公共交通調査事業の活用を国土交通省に申請し、5月に交付決定を受け、6月議会に地域公共交通網形成計画策定に係る経費を予算計上している。公共交通実態調査やアンケートを実施し、市全体の総合的な公共交通ネットワークの構築へ向け、地域公共交通会議で検討していく。

出水

交通政策基本法の制定と地域公共交通活性化再生法の改正に伴い、国は「地域公共交通網形成計画」を策定し、まちづくりと連携し、面的な公共交通ネットワークを構築することを求めている。日置市は、今後どのように対応していくのか。

利用者ニーズに 合わせた見直しを

質問 2
【答弁】
持続可能な交通政策の推進を図る

点も必要と考える。また、市内のコミュニティバスは過疎化・高齢化により利用者の減少傾向が見られる。公設民営方式での小型バス導入により、集落内や公共施設、病院・スーパーなどへの乗り入れ、ダイヤの見直しによる利便性の向上が求められる。空港バスも路線維持に苦慮しているが、航空会社や旅行会社との連携により、観光客誘致の手段として活用できる。

市長

日置市の地域公共交通はJR鹿兒島本線をはじめ、民間バス事業者が運行する路線バス、市が旧町ごとに運行するコミュニティバスと



コミュニティバス

乗合タクシーの体系となっている。一部で利用者が減少している路線もあるので、地域ごとの対応にとどまらず、市内全域を見渡し、持続可能な交通政策の推進が課題と考える。利用者のニーズに応える交通体系にできるよう、地域公共交通会議で協議していきたい。

4 地域のあり方は

質問 1
【答弁】
行財政改革に取り組み、バランスを考慮

田畑 純二 議員



民自治の強化策は。⑤ 4 地域への支援策をどう考え、実行しているか。

市長

① 周辺地域の活力低下などが課題で、新行政課題にも適切に対応する。② 能力は非常に高く、市民と協働できる職員の育成に大いに寄与。③ 共生・協働による地域づくりを26地区公民館とともに進め、それを受け皿とした分権を推進。④ 地区公民館に類似同士の連携も呼び掛け、旧町域を越えたコミュニティの協働で、地域づくりを展開している。⑤ 第1次日置市総合計画に定めた方向で進めてきたが、第2次総合計画でも、地域の特性や多様性を生かして取り組む。

田畑

① 本市の合併効果をどうとらえ、不十分な点にはどう対処しているか。② 4 地域の自治力・職員力をどうとらえ、市政にどう生かしているか。③ 都市内分権と4地域のあり方をどう考え、どう実行しているか。④ 地域コミュニティと4地域のあり方、住

学校給食費を無料に できないか

質問 1
【答弁】
今のところ無料化は考えていない

た。沖縄県では今年4月から給食費無料化を実施。給食費を払えない状況はどうなっているか。本市でも学校給食費の無料化を実施できないか。

山口

子どもの貧困が問題になる中、全国45の自治体で学校給食の全額補助・無料化が実施されている。全国の2割の自治体で何らかの保護者負担軽減を実施し、ここ数年で実施に踏み出す自治体が増えている。半額や2割補助は84自治体、多子世帯への補助は40自治体であっ

山口 初美 議員



市職員の非正規と 正規の賃金格差は

質問 2
【答弁】
職員の労働条件は適切に運用

市長 同一の職務内容に任用され、責任・困難度が同じ場合は、職務給の原則から報酬額は同一と考えるが、「同一労働同一賃金」は、国等の助言に基づき対処したい。

山口

公共の施設で働く人たちの貧困問題（官制ワーキングプア）が大きな社会問題となっている。公務公共の場で働く人は全体の奉仕者であり、そこに格差があつてはならないし、格差があるのなら是正する必要がある。どれだけの賃金格差があるのか調査し、他市との比較も必要と考える。

「同一労働同一賃金」の見解を伺う。また、労働基準法は守られているか。



日置南給食センター

労働条件については、条例に基づき適切に運用されている。（その他の質問）
・店舗リニューアル助成制度
・高すぎる国保税引き下げ
・脱原発

近隣自治体間の 連携は

質問 2
【答弁】
連携中枢都市圏の構築に向けて協議中

市長 ① 連携中枢都市圏で広域的に実施するのが有益なものを連携していく。② 同じ目的の自治体と連携して活動中で、今後民間企業等との連携強化。③ 県と災害時相互応援協定を締結。他との応援体制の整備にも努力中。④ おおむね健全な運営状況だが、今後近隣市町との広域連携も検討する。⑤ 地域医療情報データベースがあり、医療機関情報も拡大される見込み。（その他の質問）
・住民の交通政策

田畑

① 自治体間連携による新たなPPP（官官連携）の時代への対処法は。② 選べる広域連携を今までどう実践し、今後どう強化していくか。③ 大規模災害と自治体間連携をどうとらえ、市民をどう救っていくか。④ 水道事業の垂直統合による広域化の進め方は。⑤ 自治体と医療機関が広域連携し、地域での医療情報の共有実現は。



旧日吉支所



花木 千鶴 議員

質問 1 消防団OB会と消防潜水隊の配置を

【答弁】 他市の状況を調べてみたい

近年、日本各地で大規模災害が発生している。

災害が発生した場合、常備消防だけでなく、消防団の活動が重要となる。

しかし、消防団員の確保は難しい現状であり、災害の時間帯によっては自身の勤務の状況で参集できないこともある。

被災地で消防OB会の重要性を研修したが、本市でも配置すべきではないか。

また、本市吹上浜はサーファーにも人気のスポットがあり、観光の目玉でもあるが、毎年海難事故も多い。

近隣市では消防潜水隊を置き、水難事故に備えている。

消防潜水隊は、海難事故だけでなく河川、湖沼等の事故にも対応する。

近年の異常気象等による水害も懸念されるが、本市でも消防潜水隊の配置をすべきではないか。

市長

若い団員の確保や勤務時間帯によっては、人員が集まりにくいことは認識している。

OB会については、消防団の方々と話をしてみたい。

質問 2 医療費助成申請の簡素化を

【答弁】 医師会に協力を求める

本市では子ども医療費無料化に取り組んでいるが、ひとり親家族や重度心身障害者等は対象外である。

制度の問題はあるが、薩摩川内市が取り組んでいるような簡素化を本市も検討すべきではないか。

市長

重度心身障害者・ひとり親家庭等の医療費の各助成については、障害福祉サービス事業所への委託による、申請書を回収する仕組みについて調査し、医師会への協力を求めている。

当事者の負担軽減に取り組む考えである。



水難救助器具

質問 1 廃棄物処理の方向性は

【答弁】 ごみのRPF化を視野に

生ごみ回収は4年後に完全移行の予定だが、各年度の目標値と、焼却が減少する事による経費削減はどれくらいか。

生ごみ回収後の、可燃ごみの削減とRPF(廃棄物固形燃料)活用を考えないか。

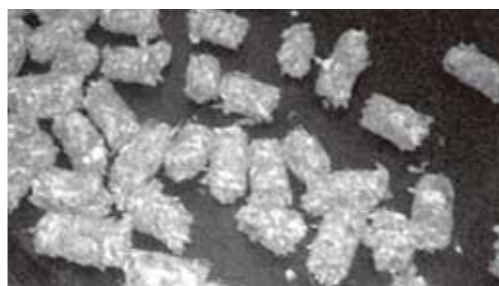
また水分の多い、使用済み紙おむつのリサイクルに取り組みないか。

市長

生ごみ回収は現在約5200世帯で23%、29年度に40%、30年度に60%、最終の31年度で80%を目標に市民への周知に取り組む。

ごみとして焼却しない経費はおおよそ1億4000万円の削減となる。

将来的には、可燃ごみを焼却せず固形燃料化して、ごみから収入が見込める事業展開も必要と考え、南薩衛生組合の構成市で検討し



RPF(廃棄物固形燃料)

質問 1 農地法3条、下限面積の見直しは

【答弁】 関係課と協議し前向きに取り組む

農業委員会等に関する法律が改正され、本市では任期満了となる時点で改正されるが、具体的にどう改正されるのか。

農地法3条の下限面積は、平成21年の農地法改正で、各自自治体で面積を定めることができる。

本市では、30aであるが、鹿児島市、南さつま市等では20aである。

下御領 昭博 議員



限定した下限面積については、佐賀市で下限面積が1m以上となっている。

本市においても空き家対策や定住促進を考慮し、地域実情に沿って、農地の下限面積を見直す考えはないか。

質問 2 ハード・ソフト事業の割合の見直しは

【答弁】 4期目は地域に合った計画に

地区公民館に交付される予算を、インフラ整備で都市部と周辺部では整備の進捗状況に以前として差があると感ずるので、見直しをする考えはないか。

予算決定の項目に、整備率を加えられないか。

周辺部では、インフラ整備が遅れている実情で、地区公民館毎の使い方ができないのか。

市長

29年度にインフラ整備率を含めて、地区公民館長等の意見を聴きながら、4期目が早い時期にスタートできるように、予算を検討し内容を定める。

4期目は、ハード・ソフト事業どちらに重点を置くか地域によって違うため、予算割合に幅を持たせ、地域に合った計画を行う。



農地と隣接する住宅

質問 2 ひとり親等医療費助成申請の簡素化を

【答弁】 今年度中に簡素化を検討していく

生計のために働いているひとり親家庭と、重度の障害を持つ重度心身障害者の医療費助成申請は月ごと・病院や薬局ごとに領収書を添付して、市役所に持参か、郵送しなければならぬ。

現状での苦情や課題はないか。

薩摩川内市では、市・

国保連合会・市医師会の連携で本人に代わって、病院や薬局が申請書類の提出に協力し簡素化されている。

本市も同様にできないか。

平成27年度、ひとり親家庭医療費助成が483世帯、重度心身障害者医療費助成の登録者が1419人で、手続きは煩雑であるが苦情は届いていない。

障がい福祉サービス事業所への委託による申請書の回収を検討する。

（その他の質問） *河川清掃に河川アダプト制度を取り組まな

再生可能エネルギーと 原子力災害の応急対策を調査しました

総務企画 5月16日

再生可能エネルギー

平成28年4月から、小規模事業者の電力小売りの自由化が始まり、一般家庭では生活スタイルや節電対策など考えて、電気小売登録事業者を自由に選べるようになった。本市は、地産地消型エネルギーシステムを構築し、今後、公共施設への導入を予定している。

小水力発電は東市来町伊作田地区に農山村地域に存在する小水力のポテンシャルを最大限活用し、その農山村地域の活性化につながるような仕組みを構築することを目的とする。

実証段階であるが、事業化にむけては水量等の課題が多い。

地域で使用するエネルギーは地域で生み出すという発想が着々と進められている。

事業として採算が合うためにも、国が進めている「発送電分離」を期待したい。

九州おひさま発電株式



風力発電

会社は山の尾根を、造成し外部からの流入がない計画で施工されている。一番低い部分は全面コンクリート張り、調整池の役割をかねており、日本初の試みとのことである。

日置ウインドパワー株式会社は伊集院町上神殿地区に設置しており、風車全高は119m・風車ブレード径82mで機械音については、思ったより

も低いと感じた。平均6・5mの風があり発電量は良好で、現在3800世帯分の発電がある。

平成28年4月から、小規模事業者の電力小売りの自由化が始まり、一般家庭では生活スタイルや節電対策など考えて、電気小売登録事業者を自由に選べるようになった。

原子力災害の 応急対策

代替えオフサイトセンターは東市来町長里の鹿兒島県消防学校が施設になっており、発電所との距離が30km以上で、オフサイトセンターの方向とは異なる場所に複数存在すること。

30km未満である場合には、放射線防護機能を具備しなければならぬ。



県消防学校内の代替えオフサイトセンター

を検出する固定観測局73局については国の機関による24時間・365日の監視体制である。

建物の気密化、放射性物質除去装置の設置、出入り管理設備の設置、非常用発電機の設置など整っており、かなり進んだ施設に感じた。

しかし、ごく一部の市民の対応となるのではないか。

市民が安心できるような対応、対策が急務の課題である。

市民の願い 陳情 のゆくえ

「日置市議会議員の定数を22人から20人に関する」陳情書は不採択

【提出者】 西田 征博氏（東市来町湯田）

討論

【反対】

3月議会で同じ主旨の議員発議を提出したが不採択となったが、今までの間に定数に関して再度検討しなければならぬような状況の変化は特別ないと考えられる。このようなことから、3月議会で提出された議会の決定を尊重すべきであるため反対する。

【賛成】

議員定数については同じ趣旨の改正案が、先の3月議会で出され、否決された。

議会の中には特別委員会の審議結果や3月議会で決定の結果を尊重すべきとの意見もある。

しかし、今回の陳情書はそれらの結果を受けて住民から提出された陳情書だと理解している。

陳情の願意は22の定数を20に削減することで、採択に賛成。

（賛成5・反対16）賛成少数で不採択



教育予算拡充に係る意見書採択の陳情を採択 国へ意見書を提出しました

【提出者】 山下 博司氏（日吉町日置）

討論

【反対】

児童生徒が、意欲を持って学習に取り組むことを重視して、学校教育は行われる。

教職員の定数改善と、国の教育予算の拡充が、それらを高めるとは限らない。

少子化の今、地方議会こそ、正当な「適正規模とは、教育とは」問い直すべきであり、安易な陳情には反対する。

【賛成】

日置市においても、子どもたち一人ひとりの個性を尊重しながら、「生きる力」と「豊かな人間性」の育成をめざしていく必要がある。

豊かな教育を実現させるためには、子どもたちの教育環境の整備を一層すすめる必要がある、それには、教育予算の充実が必要不可欠である。

陳情の5項目の願意は妥当と判断し採択に賛成。

（賛成18・反対3）賛成多数で可決



陳情名	賛否表(成田議員は議長のため、表決には参加しない)															結果						
	中村	島中	留盛	橋口	黒田	下御領	山口	出水	上園	門松	坂口	花木	並松	大園	漆島		中島	田畑	池満	長野	松尾	宇田
日置市議会議員の定数を22人から20人に関する陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×	-
教育予算拡充に係る意見書採択の陳情について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	-

産業建設部所管の施設等 12か所調査しました

産業建設 5月9日

住民要望のあった産業建設部所管の道路・施設等の調査を行った。

〔調査箇所〕

東市来運動公園体育館解体工事、皆田水源地整備、皆田東地区排水路改修工事、市道川口美山線おもいで館そりスキー場芝張替工事、冷蔵ショーケース・米保冷库購入、南湯西住宅解体工事、吹上温泉広場農村公園、徳重地区雨水ポンプ、市道小間線道路改良工事、伊集院森林公園



皆田水源

慢性的な水源不足の状況にあり皆田地区では、表流水をろ過して使用している。しかし天候状況等により安定的な水道の供給に支障が出るため、今回水源確保の動きとなった。

皆田水源地整備

平成32年の鹿児島国体に向けて湯之元球場の整備計画に合わせて、体育館を解体し駐車場にする計画である。

東市来運動公園体育館解体工事

老朽化により施設は、現在使用中止となっている。

市道小間線道路改良工事
辺地指定を受けている本路線改良は、平成28年から32年度まで920m、



そりスキー場

市道川口美山線

揚水試験の結果、長期にわたって安定した水量の確保と水質検査が適合したため、今後、用地買収を計画。



市道川口美山線



吹上地域農村公園トイレ

築20年以上が経過する6カ所のトイレについて洗浄水の濁りや臭いが改善されず苦情が寄せられている。今後年次的に合併浄化槽に取り換えていく。

農村公園トイレ整備計画

おもいで館そりスキー場芝張り替工事
開館後20年が経過し、そりスキー場の人工芝がはがれ使用中止状態になっている。今回天然芝に張り替え、施設の一体的な利用増に進める計画。

病児保育の取り組みと学童保育施設の利用状況を調査しました

文教厚生 5月10日

5月10日、4月から開始された病児保育の取り組みと学童保育施設の利用状況を調査しました。

4月から開始された病児保育の取り組み(鹿児島こども病院)

4月から鹿児島こども病院に、病児保育室「キッズスマイル」が設置され、本市として初めての、病児保育事業が始まった。病児保育の定員は3人、職員は保育士2人と看護師1人配置。利用人数は1日あたり1.48人である。利用者の主な病気の症状は、インフルエンザ、発熱、咳、鼻水等である。

病児保育の利用について

- ①対象者は市民の0歳児〜小学校6年生
- ②利用日及び保育時間
月曜日〜土曜日
(日・祝・年末年始は休み)
8時30分〜18時
- ③利用料金
1500円
(食事代1食200円)
- ④利用方法
事前登録制



病児保育の始まった鹿児島こども病院

委員の意見

・事業開始1カ月ではあるが、予想以上に利用が多く、行政も積極的な支援をすべきではないか。
・キャンセルも多いが、職員配置の費用は事業者負担になっており、キャンセル規定を設ける必要があるのではないか。

地域ごとの登録者数に差があり、今後も啓発に

学童保育施設の利用状況について(清光保育園)

27年度の法改正により放課後児童クラブの上限定員が80人となる。登録者数は99人だが一日の利用者数が、これまでに最大64人であり、基準に適合している。一日の流れは、学校から登園、着替え、おやつ、勉強、遊びという流れで

力を入れる。職員体制の充実を求める声もあり、財政的な支援をすべきでは。

委員の意見

・長期休みの宿題の対応もなされ、高学年の児童の指導もよく、全体的に子どもたちの指導がいきなっている。
・利用時間が18時までという点だが、保護者のニーズを考えれば、時間延長すべきではないか。



病児保育



学童保育

まとめ

学童保育の利用ニーズは、今後も十分調査し、希望する子どもが入れる環境を整備すべき。保育時間も他自治体等と比較しながら、延長が可能であれば、今後の課題として取り組むべき。放課後児童クラブは、指導員の募集をしても集まりにくい状況があり、国や県への処遇の改善と財政的支援に努力していただきたい。

行政視察 議会運営委員会

相馬市・飯能市5月25日・26日

災害時の議会の対応・タブレット導入の調査

災害時の議会対応やタブレット導入等について調査しました。

〔調査地及び調査項目〕

- 1、福島県相馬市
- ・災害時における議会の対応について
- ・議会運営について
- ・議会の活性化と議会改革について
- 2、埼玉県飯能市
- ・タブレット導入について
- ・議会改革について
- ・議会運営について

福島県相馬市の災害時における議会対応について

相馬市は平成23年3月11日の大震災において、死者458人、被害住宅5584棟、被災水田1102haの被害を受けた。

- ①議員報酬の1割削減・復興復旧にかかる意見書・各支援金支給条例等の議決
- ②基幹交通網の早期復旧と整備促進に関する特

別委員会の設置など。

- ③3月15日、東日本大震災相馬市災害対策本部を全議員で設置
- ④6月28日、東日本大震災相馬市議会復興協議会を全議員で設置（8月30日まで週1回開催）
- ⑤8月30日、東日本大震災相馬市議会復興対策

- ⑥罹災証明発行にも時間がかかった。
- ⑦議員も被災しているため登庁できず、メールで安否確認をした。
- ⑧市がすべての店から水や食料を庁舎に運び、議員も各地区の一時避難所へ運んだ。

〔まとめ〕

本市議会でも議会災害対策支援本部設置規定を条例に書き込むべきではないか。本市でも、災害時にはメール配信で市の状況等を配信すべきではないか。

埼玉県飯能市のタブレット導入について

飯能市は紙使用量削減を図るため、全議員及び執行部幹部職員にタブレット端末を導入し、ペーパーレス化を図っている。

- ①インターネット接続可能・庁外利用可・議会の緊急メール・政務調査活動・各種会議資料閲覧にも活用している。
- ②課題として、セキュリティシステム・WiFi機能での内外情報の取り入れ等を進めたい。
- ③初期投資346万円、年間通信費5万8800円で議員の自己負担2000円・公費3万9800円・政務活動費9800円。

〔まとめ〕

タブレット導入は次期改選後に進めていくべきである。



相馬市防災備蓄倉庫

第45号の表紙

「チプアマイレ」は日置市を中心とした活動する、チプアフラグルのチームです。「チプア」とは「チプア」とは複数の花を意味し、ハワイの自然とアロハの心を大切に、その花々が美しく成長しますように願うフラガールです。宮崎モクオケアヴェ日本大会や指宿フラフェス活動しています。



平成28年 9月議会定例会会期日程(案)

- 9月8日 開 会
9月12~14日 各常任委員会
9月16-20-21日 一般質問
9月28日 閉 会

都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

編集後記

長い梅雨も明け、さわやかな青空の下、6月議会を振り返ってみました。今議会では議決した予算の26.6億円の数字を8%上回り、依然として厳しい財政状況と言えます。更なる自助努力を重ね、早急に財政の危険水域から脱出したいものです。

この議会のとびらは、議会の活動を、広く市民の皆さまにお知らせしています。これからも、より開かれた議会の広報を目指してまいります。

《発行責任者》
長 成 田 浩

《編集責任》
広報編集委員会

- 委員長 黒田 澄子
副委員長 橋口 正人
委員 長 坂口 文子
委員 大 園 貴之
委員 坂口 洋之
委員 山 中 弘紀